

JENESYS2016 大洋州第1陣（招へいプログラム） （対象国：キリバス、クック諸島、サモア、ソロモン諸島、バヌアツ、 フィジー、マーシャル）（テーマ：防災・復興）の記録

1. プログラム概要

キリバス、クック諸島、サモア、ソロモン諸島、バヌアツ、フィジー、及びマーシャルより防災・復興に関心のある学生 30 名が、10 月 12 日～10 月 20 日の 8 泊 9 日の日程で訪日し、防災・復興をテーマとしたプログラムに参加しました。一行は、都内で復興庁からの説明を受け、その後、福島県を訪問し、被災地視察や防災関連施設の訪問を行ったほか、日本の学生との交流やホームステイを実施しました。

一行は、プログラム中、防災対策の取組及び東北地方の復興状況に関する知見を深めるとともに、訪問地の魅力を多角的に感じる機会を持ったほか、日本の生活への理解と関心を深め、各々の関心事項や体験について SNS を通じて対外発信を行いました。また、帰国前の報告会では、訪日経験を活かした帰国後のアクション・プラン（活動計画）についてグループ毎に発表しました。

【参加国・人数】

30 名（キリバス 2 名、クック諸島 1 名、サモア 2 名、ソロモン諸島 6 名、バヌアツ 2 名、フィジー 16 名、マーシャル 1 名 ※50 音順）

【訪問地】

東京都、福島県

2. 日程

- 10 月 12 日（水） 成田国際空港より入国
- 10 月 13 日（木） 来日時オリエンテーション
【表敬・交流】復興庁
- 10 月 14 日（金） 福島県へ移動
【復興】いわき・ら・ら・ミュウ、被災地（豊間・薄磯地区）
- 10 月 15 日（土）
【防災】アクアマリンふくしま
【視察】いわきサンシャインフェスタ
【文化交流】フラダンス体験
【視察】いわき市石炭・化石館ほるる
- 10 月 16 日（日）
【表敬・交流】ホームステイ

10月17日（月）

【復興】非特定営利法人ザ・ピープル訪問

【学校交流】国立福島工業高等専門学校

10月18日（火）

東京都へ移動

【防災】そなエリア東京

10月19日（水）

【歴史文化】浅草寺

報告会（訪日成果・帰国後の活動計画発表）

10月20日（木）

成田国際空港より出国

3. プログラム記録写真

	
10月13日 オリエンテーション	10月13日 復興庁
October 13 th Orientation	October 13 th Reconstruction Agency
	
10月14日 いわき・ら・ら・ミュウ	10月14日 豊間・薄磯地区
October 14 th Iwaki Lalamew	October 14 th Toyoma & Utsuiso Area

	
10月15日 アクアマリンふくしま October 15th Aquamarine Fukushima	10月15日 フラダンス体験 October 15th Hula dance Experience
	
10月15日 いわき市石炭・化石館ほるる October 15th Iwakishi Sekitan Kasekikan, Horuru	10月16日 ホームステイ October 16th Homestay
	
10月17日 非特定営利法人ザ・ピープル October 14th N.P.O The People	10月17日 国立福島工業高等専門学校 October 17th National Institute of Technology, Fukushima College

	
10月18日 そなエリア東京	10月19日 浅草寺
October 18 th SONA Area Tokyo	October 19 th Sensoji Temple

4. 参加者の感想（抜粋）

◆ サモア 学生

私たちが得たすべての経験、訪れたすべての場所、出会ったすべての人々、福島に関するすべてが最高でした。いつか家族を福島へ絶対に連れて行きます。

◆ フィジー 学生

旅行中の素晴らしい経験は言葉では言い表せないものでした。そのすべてが大好きでした。2週間という期間に本当にたくさんのことを学びました。（日本の）文化や地域社会の一部に触れる機会をくださった JENESYS に感謝いたします。

◆ クック諸島 学生

福島での散策を本当に楽しみ、どのようにして震災復興に取り組んでいるかを知りました。

5. 受入れ側の感想

◆ いわき市自治体関係者

JENESYS2016 事業は参加された学生さんたちにとって、意義深く、有意義なプログラムになっていたようで、大変嬉しく思います。”The trip changed my life” という感想をいただいたのは最高の褒め言葉です。今後もインバウンドをはじめとした交流事業に力を入れていく所存です。

◆ 学校関係者

素晴らしいパフォーマンスでした。島嶼国の学生さんたちの明るさ、自分たちの文化への誇りはいつも本校の学生を刺激してくれます。また交流の機会があれば、ぜひ受け入れたいと思います。

6. 参加者の対外発信

 国立福島工業高等専門学校訪問についての発信 ・国立福島工業光都専門学校での文化交流は最高でした。	 ホームステイについての発信 ・最高の日本の伝統的な家族とのホームステイを楽しんでいます。
Cultural exchange at the Fukushima Institute of Technology was awesome.	Enjoying our home stay with the best Japanese traditional family.

7. 報告会での帰国後のアクション・プラン発表

	
アクション・プランの発表 1 「日本から学んだこと」 時は金なり, マナー, 文化, 尊敬, 日本語, 環境, 食事, 技術 「どのように私の経験を伝えるか？」 ブログ, Facebook, Instagram, 講演会, " Talanoa "(Web サイト)	アクション・プランの発表 2 「日本や JENESYS を伝える手段」 1. Laucala JENESYS 2016 のコーディネーターに簡易報告書を提出 (フィジー) 2. Facebook や Twitter 等のソーシャルメディアを通じての写真や経験の共有 3. 友人や家族との共有 4. JENESYS Alumni に参加 5. 必要に応じ, 大学や日本大使館が行う日本関連のイベントに参加

	6. 時間厳守
‘What I learnt from Japan’ Time is money, Mannerism, Culture, Respect, Japanese language, Environment, Food, Technology ‘How will I promote my experience?’ Blog site, Facebook, Instagram, Guest recture, Family “Talanoa”	‘How to promote Japan and JENESYS project’ 1. Submit summary report to Laucala JENESYS Coordinator 2. Share photos and experience on social networks eg. FB, Twiter, etc 3. Share experience with friends and families 4. Be part of JENESYS Alumni 5. Participate in Japanese events facilitated by the University or Japanese embassy if help needed